

特定非営利活動法人バリアフリーネットワーク会議
「業務用プリンター活用による利用者の就労活動促進と社会参加の充実」

1. 事業導入までの経緯と目的

障害者関連の法整備が進んでいる現在、障害者の社会参加がしやすくなっています。特定非営利活動法人バリアフリーネットワーク会議（以下、BFN会議）においても障害を持っている方が就労・一般雇用できるよう訓練をしています。

BFN会議では障害者の中でも肢体不自由の方が多く活動しています。他の障害と比較して肢体不自由は体の動きに制限があるため就労できる機会が少ないのが現状です。肢体不自由やその他の障害をお持ちの方が就労するためには訓練の多様性が必要であり、BFN会議ではコンピュータによるグラフィックデザインの技能を向上させる訓練を行うことでIT分野での就労を目指しています。

業務としての印刷はグラフィックデザインとの相性がよく、顧客から受けた依頼をデザインから印刷まで事業所内でシームレスに行うことができ、作業としてできる事が広がることから訓練の拡充にもなります。業務用プリンターを活用して訓練を行うことで障害者の技術の向上、顧客との関係づくりを通じた社会参加を目的として本事業を提案しました。

2. 内容

○オンデマンド印刷の出来るポスタープリンターの導入

通常のポスタープリントと異なり、小ロットの印刷への対応が可能となり中小規模のイベント等で使用する印刷物への対応が可能となる。より地域の活動へ関わる事ができ、「障害者の社会参加」という目標に近づくことが出来る。

訓練・作業の内容はDTP（デスクトップパブリッシング）といい、印刷物のデザインから印刷までの工程を意味する。

○プリンターの活用事例

- ・障害者スポーツ普及啓発イベントのポスター作成
- ・地域振興イベント（小学生とのワークショップを中心としたグスク文化の継承）のポスター作成
- ・障害者差別解消法普及セミナーのポスター及び横断幕の作成
- ・地域の偉人の活動を伝承するための紙芝居の作成

など

3. 効果

○BFN会議で訓練・作業をしている利用者の増加

事業の導入前（平成28年4月）：6名→現在（平成29年12月）：11名

○利用者の技術の向上

BFN会議で訓練をしている利用者の実績

- ・平成28年地方アビリンピック（障害者技能競技大会）沖縄県大会 銀賞
- ・平成29年地方アビリンピック（障害者技能競技大会）沖縄県大会 金賞
- ・平成29年全国アビリンピック（障害者技能競技大会）栃木大会 出場

さらに、ポスター印刷で習得した技術を活用してチラシ、名刺、Tシャツその他印刷物の作成が事業所として可能になり、職業技術の拡充にもつながっている。

4. 今後の展開と課題

今後はより小さな地域のニーズにも目を向けて地域活性の一助となれる事業所なることを目標としている。

訓練をしている利用者の中でまだ一般雇用につながっている者がいないため、更なる技術の向上が必須。パソコン操作・印刷に関する技術の他にデザインを構成するプロセスの技術を習得するべく訓練を継続している。



プリンター本体



印刷の様子



ポスターのサイドカット



デザインの様子